

令和3年2月24日実施

## 「スマホ時代を生きる子どもたち～今、大人ができること」

講師：竹内 和雄さん（兵庫県立大学環境人間学部准教授）



### ♪こんなことを学びました♪

この講座は、子どもたちは今、どのようにスマホと関わりをもっているのか、子どもたちにとってスマホは何なのか、を保護者のみなさんに学んでいただくため、開催しました。



### 【参加の動機】

- ★仕事で子どもに関わっていて子どもの気持ちを知りたかったから
- ★子どものネット教育をどうしたらいいのかわからないので。
- ★幼少の孫がどのように大きくなっていくか、気になって。
- ★現状をまったく知らず、スマホについて知りたかったから。

### 【講座の内容】

★講座は、参加者同士が双方向で話し合いながら、講師とも対話しながら進められました。幼児期のネット使用や小学生の使用が近年急増していること、また男女での使用の違いについて、（中学生までは男子はゲームを好み、女子はLINEやインスタなどのSNSを好む傾向がある）また、子どものスマホに係るネットのトラブルは「出会い系」に起因するよりも「SNS系」に起因する被害が増加していることなど、参加者の方の実感や意見も聞きながら、データの紹介を行い、参加者に考えていただくかたちですすめました。

★これからの社会では、知識がある、問題が解けるといふことよりも、皆の意見をくみ上げ、決定することのできる思考力や発想力、コミュニケーション力の長ける人間が求められている。今後は計算能力やデータ処理能力の高いAI（人口知能）が人の仕事の大半にとってかわるといわれている。人がしなければならぬ仕事は限定されて

くる。こうした社会背景を考えると子どもの検索能力や操作能力、スマホで調べる力ということも必要とされるのであり、スマホは今後の社会に欠かせない。適切に子どもがスマホを使用できるように、家庭でも社会でもルールづくりをはじめ環境を整えていくことが大事である。

★スマホをいつから子どもにもたせるか、家族で話し合うことや両親間での意見の一致が大切であり、子どもも大人も納得の上で決定することが大切。子どもが被害者になりがちなネットでの罠、そしてスマホをあまりにもずっと使い続けると依存性というものがあるので、大人や社会がそこは気にしなければならない。



## 【講座での参加者の様子】

★双方向型・参加型の講座で、参加者どうし、講師と参加者が絶えずやりとりしながら参加者の笑いがあふれる楽しい雰囲気でした。豊富なデータや映像、動画、実際に子どもが身近に接することが可能な出会い系サイトやアプリの紹介、危険なアプリ、安全なアプリの見分け方についての解説もあり、これからのスマホ社会の行方や子どもたちとスマホの関係について学ぶことができました。

### ♡アンケートより♡

- ・知らないことばかりでえーっ!!とびっくりすることばかり。まだまだ話を聞きたいです。
- ・当たり前の固い話かと思ったら、すごくためになる内容でしかも楽しくお話を聞けました。
- ・ここまで子どもが依存するのは何なのかと知って子どもに対応したいと思っています。わかってきました。
- ・参加型で楽しかったです。

